

令和4年度 百合丘高等学校学校 年間指導計画

教科・科目	地理歴史・世界史A	学年	2	教科書	『明解 世界史A』(帝国書院)
		単位数	2	副教材	『グローバルワイド最新世界史図表 五訂版』(第一学習社)

学習目標
 近現代史を中心とする世界の歴史を諸資料に基づいて地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解させ、現代の諸課題を歴史的観点から考察させることにより、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。

学習方法
 ○文字資料や写真、映像等の諸資料を活用することにより歴史的事項を把握し、理解を深める。
 ○現代の諸課題について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら歴史的観点から考察する。
 ○学習した内容を生徒間の討議や発表を通して共有することにより、歴史的思考力を養う。

学習評価	評価の観点		科目の評価の観点の趣旨
	a	関心・意欲・態度	近現代史を中心とする世界史に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究するとともに、国際社会に主体的に生きる国家・社会の一員として責任を果たそうとする。
b	思考・判断・表現	現代世界の諸課題を歴史的観点から考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断し、その過程や結果を適切に表現している。	
c	資料活用の技能	近現代史を中心とする世界の歴史に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して読み取ったり、図表にまとめたりしている。	
d	知識・理解	近現代史を中心とする世界の歴史についての基本的な事柄を地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身に付けている。	

学期	内容のまとめ	時数	単元(題材)	学習内容	評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
					a	b	c	d		
前期	世界史へのいざない	1	自然環境と歴史	人と海の関わり、人と自然環境の関わり	○				a.地理とのつながりから歴史を意欲的に考察し、歴史に対する関心を高めようとしている。 b.主題設定した学習を通して、具体的様相などを考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c.主題設定した学習を通して、事例の考察に必要な諸資料から有用な情報を読み取っている。 d.主題設定した学習を通して、世界史を学ぶ視点と世界史学習の意義に気づいている。	・プリント学習 ・探究学習に対する取り組み ・課題提出 ・定期試験
		1	日本列島の中の世界の歴史	鉄砲伝来の世界史、銀がつなぐ世界史		○				
	世界の一体化と日本	16	ユーラシアの諸文明	東アジア、南アジア、西アジア、ヨーロッパ、ユーラシア海の交流、陸の交流	○	○	○	○	a.世界各地に形成された諸文明に対する関心を高め、意欲的に追求しようとしている。 b.世界各地に形成された諸文明の特色を多面的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c.世界各地の形成された諸文明に関する諸資料を収集し、読み取ったり図表にまとめたりしている。 d.世界各地に形成された諸文明についての基本的な事柄を把握し、その知識を身に付けている。	・プリント学習 ・探究学習に対する取り組み ・課題提出 ・定期試験
		5	結びつく世界と近世の日本	大航海時代のヨーロッパと世界、アジアの諸帝国とヨーロッパの主権国家体制			○	○		
後期	地域社会と日本	13	ヨーロッパ・アメリカの工業化と国民形成	産業革命と資本主義の確立、フランス革命とアメリカ諸国の独立、自由主義と国民主義の進展	○			○	a.16世紀から19世紀までの諸地域世界の結合と変容の過程に対する関心を高め、意欲的に追求しようとしている。 b.16世紀から19世紀までの諸地域世界の結合と変容の過程について多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現できる。 c.16世紀から19世紀までの諸地域世界の結合と変容の過程に関して、その時代に作成された諸資料を読み取ったり図表にまとめたりしている。 d.16世紀から19世紀までの諸地域世界の結合と変容の過程に関する特色などの基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。	・プリント学習 ・探究学習に対する取り組み ・課題提出 ・定期試験
		6	アジア諸国の変貌と近代の日本	世界市場の形成、ヨーロッパのアジア進出、明治維新と東アジア	○			○		
	地域社会と日本	1	帝国主義の時代	帝国主義。列強の世界政策、アジア太平洋地域の分割、アジア諸国の変革	○			○	a.19世紀後半から20世紀初期までの世界の動向と社会の特質に対する関心を高め、意欲的に追求しようとしている。 b.19世紀後半から20世紀初期までの世界の動向と社会の特質について多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c.19世紀後半から20世紀初期までの世界に関する諸資料を読み取ったり図表にまとめたりしている。 d.19世紀後半から20世紀初期までの世界の動向と社会の特質を理解し、その知識を身に付けている。	・プリント学習 ・探究学習に対する取り組み ・課題提出 ・定期試験
		1	急変する人類社会	進む世界の一体化、大衆の登場と国民統合				○		
11		世界戦争と平和	第一次世界大戦、ヴェルサイユ・ワシントン体制、アジアの民族運動、世界恐慌とファシズムの台頭、第二次世界大戦	○	○		○			
合計時数(55分授業)	64	5	三つの世界と日本の動向	戦後世界の出発、戦後の東アジア、戦後の西アジア・アフリカ、第三世界の台頭、緊張緩和と多極化			○	○	a.地球世界の課題に関する適切な主題を設定し、これからの世界と日本の在り方や世界の人々が協調し共存できる持続可能な社会の実現について展望しようとしている。 b.グローバル化した世界と日本について、多面的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c.現代世界に関する各種の情報や資料を収集し、その中から有用な情報を選択して、読み取ったり図表にまとめたりしている。 d.第二次世界大戦以降の世界の動向と日本の動向及び社会の特質を理解し、その知識を身に付けている。	・プリント学習 ・探究学習に対する取り組み ・課題提出 ・定期試験
		4	地域社会への歩みと課題	東・東南アジアの変容、西アジア・アフリカの変容、冷戦の終結、冷戦後の国際社会、21世紀の世界と日本	○			○		